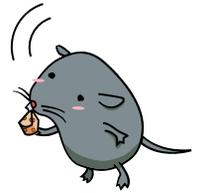


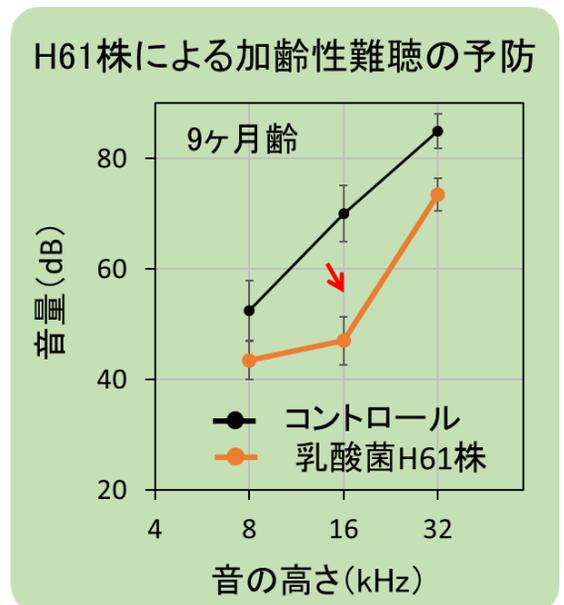
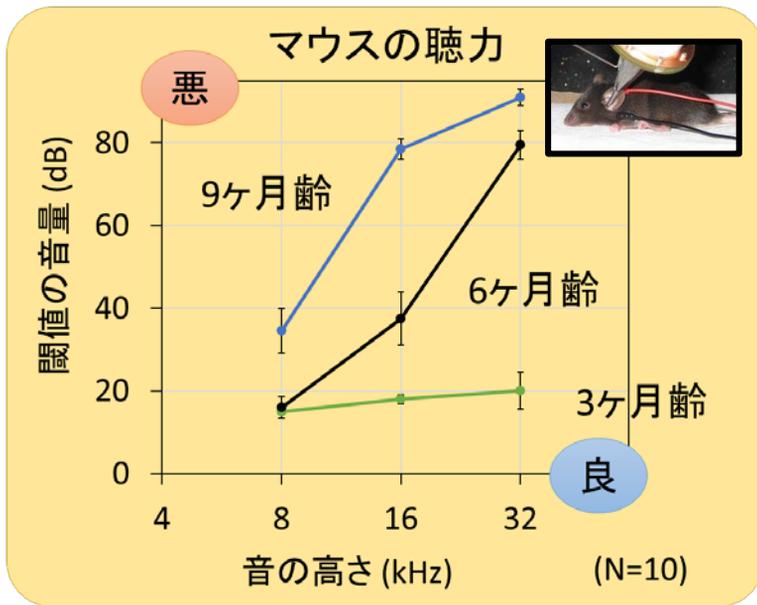
マウス加齢性難聴を指標とした抗老化評価系 — 乳酸菌H61株、鶏卵、CoQ10等による老化予防 —

技術の特徴

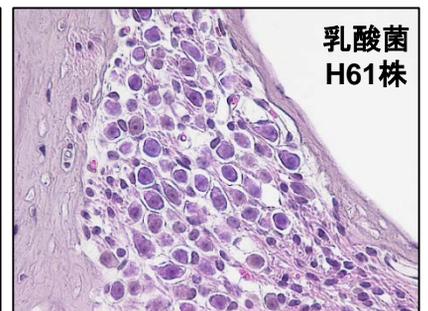
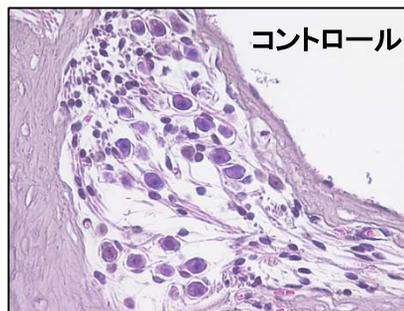
- ◆ 約3ヶ月で食品成分の抗老化能を評価(スクリーニング系としても有効)
- ◇ 一般的な実験マウスC57BL/6を使用
- ◆ 聴覚神経由来の電気信号を検出するため、客観的に聴力を判定
- ◇ 非侵襲的な測定であり、老化する個体をリアルタイムで追跡可能
- ◆ カロリー制限や機能性食品成分(乳酸菌H61株、乾燥鶏卵粉末、CoQ10など)の摂取により加齢性難聴の進行を予防できる!



研究の内容



加齢に伴うマウスの聴力の低下(上)が、乳酸菌H61株の摂取により抑制された(右上; 9ヶ月齢のマウスの聴力)。加齢に伴う聴覚神経細胞の減少も、乳酸菌H61株の摂取により抑制された(右下)。



参 考

Oike et al., Dietary intake of heat-killed *Lactococcus lactis* H61 delays age-related hearing loss in C57BL/6J mice (2016) *Scientific Reports* 6:23556



農研機構
食品研究部門

代表研究者: 大池 秀明
所 属: 食品健康機能研究領域
食品機能評価ユニット

問い合わせ先: 029-838-8088